



未来をみつめ 着実に

昭和五十九年度県予算

現代社会は次の新しい時代に向かって、急激に変わろうとしています。光ファイバー、宇宙通信などの高度情報化の進展、エレクトロニクスの発展による技術革新の波、また人生八十年ともいわれる平均寿命の伸びによる高齢化社会の到来、さらには国際化への積極的な対応など来るべき時代に備えて、その基礎を築く重要な時期にきています。

私は、これからの新しい社会を予測し、県民の皆さまの英知と情熱を結集して、共に歩む県政を力強く推し進め、県政の基本目標である活力和歌山、健康・福祉和歌山、教育・文化和歌山の実現に全力を傾ける所存です。

厳しい財政の中、明るい未来を

現在、内外の経済動向は、やや明るさをとり戻しつつあるといえますが、依然として厳しい状況が続いています。また、国の行財政改革や財政のひっ迫は連年にわたっており、本県の財政環境は極めて厳しいものとなっております。しかし、二十世紀へ躍動するふるさとをつくるためには、このような苦しい状況の中でも県勢活性化への努力をゆるがせにすることは一時的にも許されません。産業を振興して働く場所を確保し、文化生活を享受していけるふるさとをつくりあげることが急務であります。このため予算編成に当たっては、

経費の節減と事務事業の見直し、重点配分、各種基金の積極的活用により財政難の克服を図り、重点的かつ積極的な予算作りを目指しました。まず、県民生活に直結した道路などの社会基盤の整備を図るため、国の厳しい財政運営を反映して、国庫補助対象の公共事業費は減額を余儀なくされたものの、県単独事業費については積極的に取り組むこととし、前年より三・四％増額することとしました。

また、先端技術化への対応をすすめることにも県民の健康を守る医療体制の充実をはかることとしました。他方、教育・文化・スポーツの振興にもきめ細かく配慮して質的充実を図ったところです。この結果、できあがった昭和五十九年度の一般会計予算は三千百三億円となり、前年度当初予算に対する伸び率二・二％は、国の伸び率〇・五％、地方財政計画の伸び率一・七％を上回るものとなりました。

今年度は私にとりまして実質二期目県政の始動の年です。これら各般の施策を展開し、和歌山県に生まれたことを喜んでもらえる誇りある郷土とするため、全力を尽くしてまいりたい所存であります。今後とも皆さまの一層のご理解とご協力をお願いいたします。

和歌山県知事 飯谷 志良

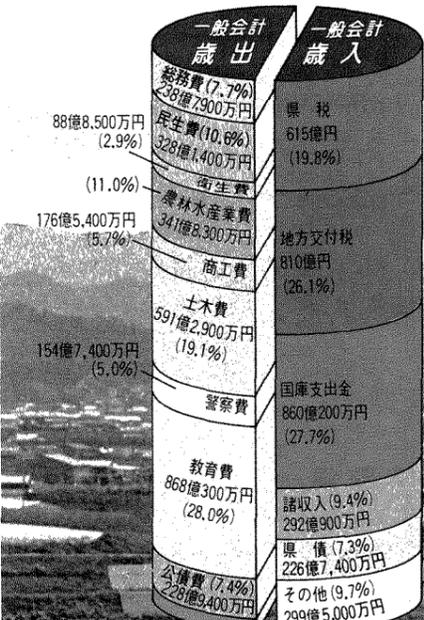


県政の基本目標

- 「活力和歌山」
- 「健康・福祉和歌山」
- 「教育・文化和歌山」

昭和59年度予算

一般会計	310,335,000千円(2.2%増)
特別会計	60,807,000千円(2.0%減)
企業会計	9,083,000千円(8.3%減)
予算総額	380,225,000千円()内は前年比



その他
86億2,000万円(2.8%)
議会費 9億4,900万円
労働費 22億8,200万円
災害復旧費 32億2,300万円
諸支出金 20億6,700万円
予備費 1億円



3月28日県勢浮揚に大きな役割を担って開通した 海南湯浅道路

昭和59年度予算の概要

厳しい状況のなか

経済浮揚と健康対策に重点

県政の基本目標「活力和歌山」「健康・福祉和歌山」「教育・文化和歌山」を達成するため多数の事業が実施されます。
新規事業を中心に主なものを紹介します。

(◎印は新規事業で、単位は10万円未満を切り捨てています)

活力和歌山 生活・産業基盤の整備と産業の振興

農業の振興

- ◎みかん産地再編強化特別対策—温州みかんを宮本早生やその他の果実に改植及び生産流通施設設置に対する補助 2億1,270万円
- 消費者ニーズへの即応と県産果実のブランド確立を目指し「味—わかやま果実」の生産推進と高品質果実生産出荷の条件整備、宮本早生の一元集荷、味—果実の販売促進 2億4,470万円
- ◎花き流通センター設置 2,230万円
- 団体営畜産経営環境整備—畜産経営の合理化を進める畜産団地の造成等 4,430万円
- ◎特産野菜工場の生産技術等モデル—マイコン利用の水耕栽培省力管理システムによる特産野菜の工場的生産モデル施設設置 3,190万円

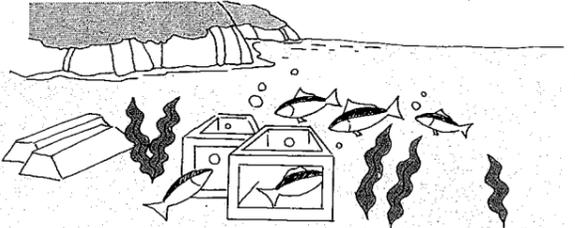


林業の振興

- 林道の整備 25億380万円
- ◎紀州材振興特別対策—県産材を安定的、計画的に供給する体制整備、紀州材の銘柄化の浸透を図る。紀州材展の開催など 1,220万円

漁業の振興

- 海域総合開発基幹—熊野灘周辺の沿岸域に藻場造成、沖合域に超大規模魚礁の設置 5億4,000万円
- ◎鮎の人工ふ化、資源増産を促進する 200万円
- 養殖漁業の堆積物を除去し、漁場の有効利用の向上をはかる改良整備事業の補助 3,390万円



商工業の振興

- ◎中小企業技術開発振興 1,030万円
- ◎マイコン応用技術研修—工場産業技術力向上をはかるマイコンの応用技術習得 520万円
- 中小企業金融諸制度の充実 100億2,900万円 (融資枠 439億8,560万円)
- ◎中小企業先端機器導入資金融資 2億円(融資枠 8億円)
- ◎心のふれあうショッピングの街づくり—商店街振興組合等が行う地域消費者に楽しい買物の場を提供する催し物など、ユニークな共同事業に対する補助 470万円

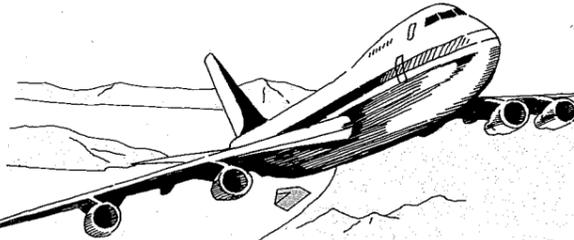


観光の振興

- ◎紀州路のイメージアップと誘客を図るラブ太平洋フェスティバルの開催補助—今夏、潮岬周辺を予定 700万円
- きらめく紀州路特別宣伝 250万円

雇用促進と労働者福祉

- 中高年齢者及び身体障害者等の就職困難な失業者の就職を促進するための職業技能の習得をはかる 7,030万円
- ◎新産業技術と労働環境シンポジウム開催 300万円

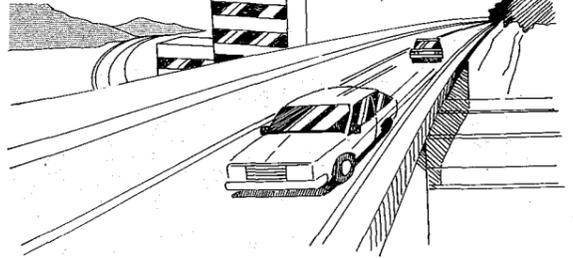


関西国際空港対策

- 関西国際空港対策 2,010万円
- ◎泉州・紀北地域総合整備計画関連調査 1,000万円
- ◎かつらぎ山系、西部開発整備計画調査 2,000万円

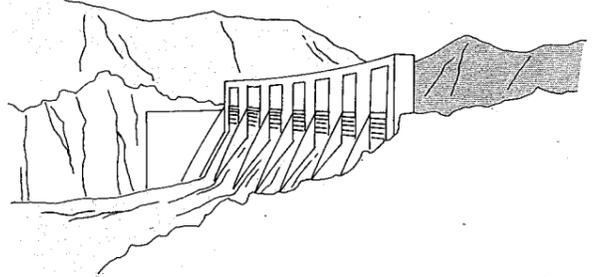
交通通信網の整備

- 高速道路の紀南延長促進のための調査 600万円
- 道路整備 207億9,500万円
- 地方バス対策—過疎地の赤字バス路線に補助 4億7,500万円
- 港湾整備 44億6,790万円
- ◎高度情報化社会に対し、ニューメディアの導入推進等の調査研究 760万円
- 紀淡海峡トンネルの調査検討と国などへの建設要望 690万円



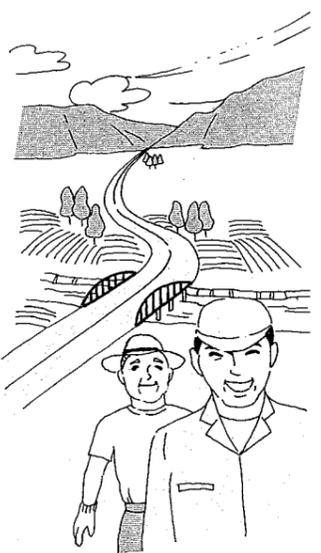
企業誘致と県土の保全

- 県土地開発公社運営資金貸付—企業誘致用地取得造成 23億円
- ◎外資系企業誘致対策—立地調査、英文解説書作成など 140万円
- 河川整備 59億9,610万円
- 樺山ダムの建設を中心とする日高川総合開発 85億6,050万円
- ◎第四次長期総合計画の策定—計画の策定や県政世論調査 2,220万円
- ◎アメニティ・タウン計画推進—快適な環境の町づくり計画(吉備町) 1,050万円
- ◎離島開発総合センター建設補助(串本町大島) 3,940万円
- 紀南福祉エリア建設(紀南大規模年金保養基地建設) 23億7,900万円



農山漁村の整備

- 耕地事業—農道整備やかんがい排水など 79億6,460万円
- 漁港整備事業 37億920万円
- ◎農業大学校コンピューター教育施設設置—農家用パソコン導入 2,650万円
- ◎山村における就労の場の拡大、若者の定住を促進 4,390万円
- ◎山村と都市の提携、交流推進—紀州の山村展開催など 500万円



お・し・ら・せ

募 集
なぎなた教室
期間 5月12日～7月14日 毎週
土曜日 午後1時30分
対象 小学生以上の女性30人
場所 近畿大学附属新宮高校

前期技能検定
職種 造園、鉄工、左官、塗装、防水施工、板金など36職種
申込 4月13日～24日 県職業能力開発協会(0734)251-4555
合格者は労働大臣または知事により技能士として認定されます。試験日は職種によって異なります。くわしくは申込先か県庁職業訓練課へ。

高圧ガス製造保安責任者および販売主任者試験
試験日 5月27日 試験場 県立和歌山工業高校(東牟婁郡合川町) 受付 4月16日～20日 県庁消防防災課、各県事務所総務課 ぐわしくは受付先へ。

理容師、美容師試験
学科試験 5月7日 県民文化会館
実技試験 理容師 6月11日、美容師 6月4日 県民文化会館
願書受付 4月9日～16日(消印有効) 居住地を所轄する保健所で、くわしくは県庁環境衛生課、各保健所へ。

試験

昭和58年度 県文化表彰



- 今回は、国際文化の交流に大きな功績のあった方をたたえる初の国際文化功労賞のほか文化功労賞、文化奨励賞を次のみなさんが受賞されました(敬称略)
- 国際文化功労賞 中谷武世(85) 国際交流
 - 文化功労賞 玉井一郎(58) 洋画研究
 - 文化功労賞 本谷敏子(71) 箏曲
 - 山口信郎(57) 洋画
 - 文化奨励賞 宇江敏勝(46) 作家
 - 清水武次郎(68) 版画家
 - 花園村郷土古典芸能保存会

青年海外派遣の回員募集
青年海外派遣 9月～10月(約3週間) アフリカ、中近東、中南米 全国で50人
日中青年親善交流 9月～10月(約10日間) 中国 全国で40人
青年の船 60年1月～3月(約50日間) インド、スリランカほか 全国で280人
東南アジア青年の船 9月～11月(約60日間) アセアン諸国へ

住宅を分譲します
木ノ本ニュータウン 和歌山市木ノ本 木造2階建て12戸耐火2戸 簡易耐火1戸 長山団地 貴志川町長山 木造2階建て3戸 現地案内 4月15日
ぐわしくは県住宅供給公社へ(0734)251-6885

県営住宅の空き家入居予定者を募集
和田団地 広川町和田 2DK 一般9戸、特定1戸
家賃月額 一万二千九百円 申込用紙配布 4月2日～23日 湯浅土木事務所 管内市町役場
申込受付 4月24日、25日 抽せん 4月26日 広川町役場 ぐわしくは申込用紙配布先へ。

入居予定者を募集
申込 官製ハガキに教室名、住所氏名、年齢、電話番号(学校名、学年)を書いて4月18日～5月9日に〒690新宮市清水元五〇〇〇 近畿大学附属新宮高校内県なぎなた連盟芝生和子へ。
ぐわしくは県体育協会事務局へ(0734)311-3982

催し

4月15日⇒5月14日

主催者の都合で変更することがあります

県民文化会館 詳しくは☎(0734)36-1331

●大ホール
太極拳と中国映画の集い4月18日13:30,17:30有料
山吹美千佳舞踏会 22日10:00無料
児童マンガ映画会 30日13:50有料
田原俊彦コンサート 5月5日13:00,16:30有料
金剛山歌劇団公演 10日18:30有料

●小ホール
ブチフルピアノコンサート 4月22日13:30無料
藤平陽子ピアノエレクトーン発表会 28日15:00無料
中西忠バイオリン発表会 4月30日13:00無料
ピオレットの会ピアノ発表会 5月3日10:00無料
13:30
栗生珠美代ピアノエレクトーン発表会 5日13:00無料
不審庵茶道講習会 6日12:30,7日10:00無料
能楽大会 13日9:30無料

県立近代美術館 詳しくは☎(0734)36-1331

▷館蔵作品展Ⅰ「戦前の作品を中心として」4月5日～22日▷黎明クラブ写真展・グループ展4月19日～23日▷館蔵作品展Ⅱ「戦前の作品を中心として」4月26日～5月13日▷葵フォトグループ写真展・小原流青年部習作展4月26日～30日▷グループ展・勝和会水墨画展5月2日～7日▷東雲会展・創作刺しゅう作品展5月9日～14日

紀三井寺公園 詳しくは☎(0734)44-7565

●陸上競技場▷海草地方陸上記録会4月22日▷マスターズ記録会4月28日▷高校版対抗4月29日▷和歌山市記録会5月3日▷近畿府県対抗5月5日▷海南市総体5月6日▷クラブ対抗5月12日
●野球場▷南海対西武5月8日▷高校野球春季近畿地区大会県二次予選5月12日
●庭球場▷西日本天長杯4月29日▷川野杯軟式庭球大会5月3日▷県社会人ダブルトーナメント5月5日、13日
●球技・補助競技場▷高校ラグビー選手権4月29日、5月3日▷近畿府県対抗5月5日▷社会人サッカーリーグ5月6日、13日

県立体育館 詳しくは☎(0734)22-4108

▷県下春季ウエイトリフティング選手権4月21日22日▷精神薄弱者をもつ親と子のつどい4月22日▷こども劇場4月29日▷和歌山卓球優勝大会4月30日▷県下卓球軟式選手権5月6日▷西日本医科学生バスケットボール大会5月11日～14日

県立武道館 詳しくは☎(0734)44-6340

▷柔道昇段審査会4月22日▷剣道進級審査会・和歌山少年柔道大会5月13日

植物公園緑花センター 詳しくは☎(07366)2-4029

▷植物趣味教室「春の原色押し花の作り方」4月15日(押し方)22日(仕上げ)定員40人、無料、申込は電話かハガキでセンターへ(先着順)

電波で結ぶあなたと県政

テレビ
きくのくに84 毎週金曜日午後10時(平日)午前11時
最終週のマンスリー県政が30分番組になりました。今月のみどころ「高野山1150年」4月20日(第22日)弘法大師御入定1150年を迎える高野町の風情を紹介。
県民チャンネル ①②③④午後6時55分 ⑤⑥午後6時25分 ⑦⑧⑨午後6時(毎週)午後10時55分
電波に生きる 毎週月曜日午後6時35分

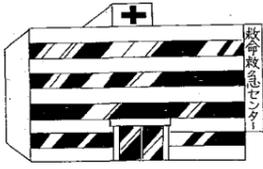
ラジオ

県民マイク 毎週土曜日午前11時30分
県民スタジオ 毎週火曜日午後2時35分
県政フラッシュ 毎月最終日曜日午前8時
県庁だより 毎日午後0時30分(第①)～④午後5時40分 ⑤⑥午後6時

健康・福祉和歌山 健康で心豊かな、安心できる真の福祉の実現

健康の確保

○救命救急センター設置 6億円
○救急医療情報センター管理運営 1億5,240万円



○健康わかやま推進「健康の日」を設定し各地方(保健所単位)ごとに各種行事等を展開 320万円

○周産期医療特別対策—新生児集中強化治療室(NICU)を和歌山赤十字病院に5床、紀南総合病院に2床、周産期集中強化治療室(PICU)を和歌山赤十字病院に10床設置 3億280万円
○妊婦一般健康診査 5,360万円
○県立医大仮病棟医療機器等整備 5億6,200万円

福祉の充実

○ゲートボール場設置補助—県内25ヵ所に 850万円
○ねたきり痴呆性老人介護研修—在宅老人の介護者を対象に県内10ヵ所で開催 130万円

○精神薄弱者更生施設建設に対する補助 1億320万円
○心身障害者小規模通所授産施設補助 420万円



○保育所の整備 1億3,620万円
○母子福祉資金 2億1,120万円
○県ボランティアセンター設置に対する補助 3,000万円
○老朽化した婦人相談所の全面改築 7,930万円

同和対策の推進

○社会同和教育の推進—学習ホールや父母教室の開設など 1,740万円
○同和高度化資金 15億1,820万円
○同和啓発の推進—同和運動推進月間設定10周年記念事業等 1億8,480万円
○同和地区環境整備—道路、下水排水路等の整備、農林水産業の生活基盤整備など 27億7,090万円



昭和59年度啓発ポスター

昭和59年度啓発ポスター
稲成小3年 阪口よしじ
秀作として
中から、最優秀作品として
田辺市立稲成小学校3年阪口よしじ君の作品と優秀作品九十九点が選ばれました。

和歌山県同和委員会では、毎年十一月を同和運動推進月間とし行動の一環として、県民一人ひとりに同和運動の輪を広げ、同和問題に対する理解と認識を高めることを目的といたす。

ポスター審査会の結果、応募総数五二〇二点(小学生の部四六二点、中学生の部五七五点、高校生部二点)の中から、最優秀作品として、田辺市立稲成小学校3年阪口よしじ君の作品と優秀作品九十九点が選ばれました。

和歌山県同和委員会では、毎年十一月を同和運動推進月間とし行動の一環として、県民一人ひとりに同和運動の輪を広げ、同和問題に対する理解と認識を高めることを目的といたす。

ポスター審査会の結果、応募総数五二〇二点(小学生の部四六二点、中学生の部五七五点、高校生部二点)の中から、最優秀作品として、田辺市立稲成小学校3年阪口よしじ君の作品と優秀作品九十九点が選ばれました。

同和対策事業と地方交付税

市町村が、同和対策事業を実施する場合には、原則として、事業費の三分の二は国庫補助金が、三分の一は地方債が財源とされます。

このうち、地方債は市町村の借入金であり、後年度に返済しなければなりません。この元利償還金は、地域改善対策特別措置法第五条に基づき、その八割が普通交付税で措置されます。

さらに、同和対策事業の中で、国庫補助事業の公営住宅建設や、市町村単独事業など普通交付税で財源措置のされないものは、特別交付税により市町村の財政負担の軽減が図られています。

なお、県下市町村に交付された同和対策事業にかかる特別交付税は、昭和58年度で約23億700万円でした。

安全なくらしの確保

○交通安全施設整備 16億5,870万円
○運転免許事務のリアルタイム化—田辺運転免許センター(仮称)建設など 2億2,790万円

生活環境の整備

○公営住宅の建設—172戸45億9,890万円
○自然公園施設整備—護摩壇山遊歩道や潮岬園地の整備 4,200万円
○護摩壇山ワイルドライフ施設整備—原生林を野生生物の保護観察する場としての施設整備 9,710万円
○海南駅連続立体交差 4億8,000万円



教育・文化和歌山

次代を担う人づくり

健全な青少年の育成

○たくましい紀州っ子を育てる親子のつどい—小学5・6年生を対象に2泊3日のつどいを開催 330万円
○近畿青年洋上大学—今年度本県が担当県として中国山東省などを訪問 4,100万円

学校教育・社会教育の充実

○高等学校の危険な校舎を改築—箕島・吉備・御坊商工・田辺商業の各校 10億9,990万円
○国保日高病院にみはま養護学校院内学級を設置 290万円
○私立学校振興助成 12億9,140万円
○社会教育施設整備—公民館や集会場の建設 1,350万円

芸術・文化・スポーツ振興と国際交流促進

○紀南文化会館開館記念演奏会—大阪フィルハーモニー 200万円
○県民文化祭 2,910万円
○和歌山県・中国山東省友好提携交流 2,480万円
○昭和59年度全国中学校選抜競技大会補助 1,000万円
○紀三井寺公園整備—管理棟とテニス場スタンドを建設 8,800万円



お・し・ら・せ

ごあんない
愛犬の狂犬病予防注射と登録をお忘れなく

和歌山県技術交流ブラザーへの参加者を募集
中小企業の技術開発、経営などの諸問題の解決を図るため、技術移転、技術交流を促進する技術交流ブラザーへの参加者を募集します。受付 4月1日～20日 参加資格などについては県庁産地振興課へ。

全国で35人
試験 4月28日 県青年館
申込 4月14日(消印有効)までに市町村役場へ。くわしくは県庁青年育成課、各県事務所民生課へ。

勤めをやめたらすぐ国民年金へ
60歳までに会社や役所を退職した人は、その翌日に国民年金へ加入しなければなりません。手続きは印鑑と年金手帳(被保険者証)を持って市役所町村役場の窓口へ。

自動車税、自動車取得税の減免について
身体障害者手帳、療育手帳、戦傷病者手帳のいずれかをお持ちの方で、一定の要件に該当する方は減免が受けられます。くわしくは各県事務所税務課、和歌山県税事務所へ。

標準価格米がかわります
特別標準価格米(指導価格10キロ三五〇円)が4月から10月まで知事許可米穀店で販売されます。

お子さんの聴覚や発語が心配な方へ
県立和歌山ろう学校では、各種相談、訓練を行っています。お気軽にご相談ください。
☎(0734)2413276

農業近代化資金の貸付利率が下がりました
年利等個人1.5%(ハウス施設建設資金は4%)、60万円まで 農協等1.6%、2億5千万円まで 償還期間 15年以内、くわしくは県庁農政課、各県事務所産産課、農業改良普及所、最寄りの農協へ。

お・気・軽・こ・べ・ん・び
交通事故相談
〔常設相談〕月～土曜日 11時～午後4時
〔出張相談〕東牟婁総合庁舎内・電話で予約してください
〔弁護士による相談〕4月21日(毎月第一、三土曜日) 午前9時～10時
相談 午前10時～正午
場所 常設相談と同じ
〔巡回相談〕西牟婁県事務所、4月17日、5月1日、15日 正午～午後4時
〔伊都県事務所〕4月25日午前11時～午後4時
〔有田県事務所〕5月2日午前

県民相談
〔常設相談〕月～土曜日 11時～午後4時
※受付は午後3時まで

県民相談
〔常設相談〕月～土曜日 11時～午後4時
場所 県庁県民総合相談室、各県事務所(県民主幹)
〔弁護士による法律相談〕4月27日、5月11日(毎月第二、四金曜日)
〔移動相談〕弁護士が同行
▽大塔村総合文化会館4月19日
▽御坊市財部会館 5月9日

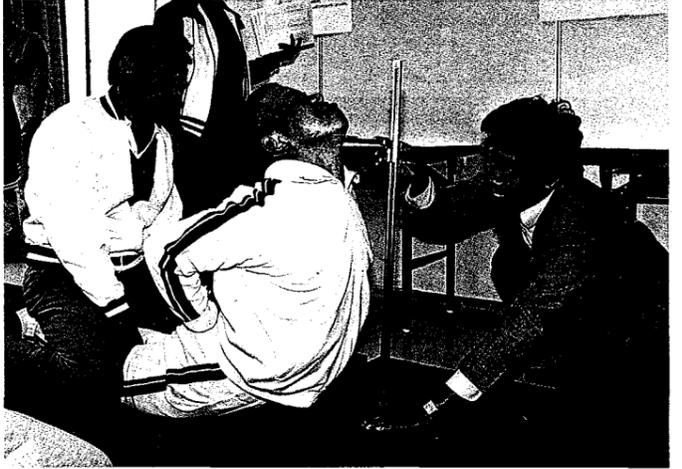


**有田川が
きれいになったぞ**

恒例の有田川の清掃が今年も2月25日に吉備町で、千三百人のボランティアにより行われました。

参加者はカマや草刈機を手に堤防の草刈りや空き缶などのゴミ拾い。夕方、集まったゴミの山を見ながら、快適な生活環境を守るためには、ゴミを捨てない、川を汚さないということが大切だと参加者一同さらに自覚した一日でした。

(吉備町)



「いい町、栄える町」の健康まつり

野上町では現在、健康まつり仲よし運動を推進しています。「いつまでも健康でありたい」「いつまでも若くありたい」というみんなの願いが少しでもかなえられるようにと2月11日「健康まつり」が開かれました。

マラソン大会、ゲートボール大会、保健センターを中心とした健康教室、栄養教室、体力測定や検診などに多くの町民が参加。日ごろ忘れがちな自分の体力年齢に挑戦している姿も見られました。

(野上町)

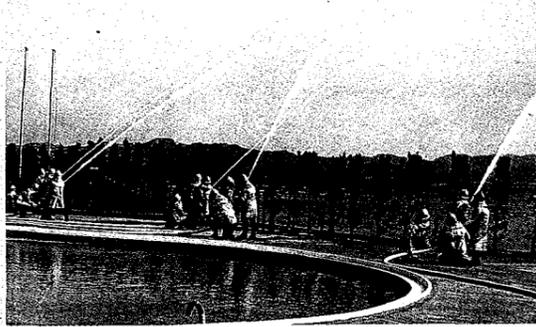


寒風の中、意気高らかに消防大会

2月10日、伝統の第28回西牟婁郡消防大会が白浜町阪田で盛大に開催されました。

大会には郡内7町村の消防団員540人、消防車両29台が参加。白バイを先頭に町内を行進し、会場では永年勤続、優良職団員の表彰、大会長訓示などの後、観閲、分列行進、ポンプ操法を行い、最後に寒風の中、一斉放水により日ごろの鍛練の成果を披露しました。

(白浜町)



白浜町内を行進する消防団員

**おいしいな
くじらの給食**



くじらの町、太地町では昭和24年以來、学校給食を続けていますが、子どもたちに豊富なたん白源のくじら料理を味わってもらうと学校給食にも取り入れています。

現在のところ二カ月に一回「竜田揚げ」として副食に登場していますが、ほとんどの子どもは「竜田揚げ」の給食回数と分量をもっと増やしてと言っています。

(太地町)

共に生きる社会を

四月は身体障害者福祉調月間です

「完全参加と平等」をテーマとした一九八一年の国際障害者年はマスコミ機関や関係機関の積極的な協力により障害者福祉に対する県民の理解と関心が高まり、意義ある年でした。その後、各方面の努力によりますます理解が深まっています。今月の身体障害者福祉調月間に際し今一度、障害者と共に生きる社会を考えてみたいと思います。

すべての人の人権が尊重されることは民主主義の基本です。障害がある、それだけの理由で社会的な不利益をこうむったり、社会から閉め出されるなど許されることではありません。心身に障害のある人もない人も一緒に社会を担い、権利を有し、義務を果たし共に生きていく。保護するもの、されるものといった関



係でなく、一人の人間として、平等な立場で生きがいを求める。それがごく普通の社会なのです。

障害者が不利益を受けないで社会参加でき、平等である社会の確立には、どのような活動が必要でしょうか。例えば環境整備の問題としてはスロープや車いす用便所の設置などにより、車いすの人も演劇や映画を鑑賞したりレストランで食事を楽しむことができます。手話のできる人がいれば耳の不自由な人が困ることも少なくなります。点字の出版物が増えれば、目の不自由な人の

情報に接する範囲が広がります。このように環境や条件などが改善されることにより障害者の不自由を軽減することができます。

最近、障害者問題を正しく理解し、社会の一員として当然果たすべきこととして各種のボランティア活動が盛んになってきたのはうれしいことです。

障害者とその介護をされる方の
県立施設使用料・入場料が減免されます

身体障害者手帳及び療育手帳の交付を受けている方が次の施設を利用する場合、四月一日から和歌山県使用料及び手数料条例に定める料金の2分の1相当額が減免されます。

です。国や県、市町村はもちろんのこと私たち、一人ひとりが自分の問題として障害者問題をとらえ、一日も早く障害者が社会活動に参加でき、平等に暮らせる社会をつくりたいものです。

今回は言葉の問題や習俗などについて考えてみたいと思います。

減免方法は施設の窓口で手帳を提示していただく事になっております。また身体障害者手帳に第一種の記載がある方及び療育手帳の交付を受けている方については、介護人(二人)が無料となります。

県立施設

使用料の減免施設

- (1)紀三井寺公園
- (2)大新公園
- (3)和歌山交通公園
- (4)秋葉山公園県民水泳場
- (5)河西県民水泳場
- (6)相模競技場
- (7)県立室内プール
- (8)県立体育館
- (9)県立武道館
- (10)和歌山県体力開発センター
- (11)県民文化会館駐車場

入場料の減免施設

- (県が催し物を行う場合)
- (1)近代美術館
 - (2)博物館
 - (3)紀伊風土記の丘資料館
 - (4)自然博物館

**ふるさとを
見よう、知ろう
話し合おう**

県政バス教室参加者を募集します



●紀北コース 5月25日 50人
県民文化会館前→高野口パイル織物産地→真田庵→紀北青年の家→農協ジュース工場→県民文化会館前

●紀中コース 5月30日 50人
県民文化会館前→(海南湯浅道路)→岩倉発電所→二川ダム→清水町和紙の里→水産物産地流通加工センター→県民文化会館前
※道路通行料として1人200円が必要

●紀南コース 5月25日 50人
西牟婁県事務所→(フェリー)→大島(トルコ記念館・日米友好記念館・海金剛)→(フェリー)→串本浅海漁場→畜産試験場→西牟婁県事務所
※フェリー代と入館料で1人700円が必要

申込方法 ハガキ(1枚3人まで)に住所、氏名、年齢、電話番号、コース名を記入して4月30日(消印有効)までに紀北、紀中コースは〒640和歌山市小松原通1-1 県庁広報課、紀南コースは 〒646田辺市朝日ヶ丘 23-1西牟婁県事務所総務課へ。※定員を超えた場合は抽せん。昼食は各自持参。くわしくは申込先へ。

**「老人の船」
が就航します**



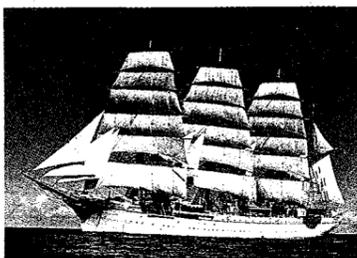
今年も洋上研修など多くの行事を盛り込んだ「老人の船」を次のとおり実施します。

行程 6月19日～22日(3泊4日)瀬戸内海を經由して別府市往復

対象 65歳以上の健康で団体行動のできる方。

参加資格 「老人の船」での体験を地域で生かしていただける方。申込などくわしくは市町村役場へ。

4月28日～30日 和歌山本港ふ頭第3、4岸壁。一般見学、船内見学(29日、30日) 写真会を行います。参加は自由ですが船内見学は小中学生を対象とします。くわしくは県庁青少年育成課へ。



夢とロマンを乗せて
帆船「日本丸」がやってくる

募集

感動の熱い心、近畿青年洋上大学



訪問先、北京の天安門広場

近畿の青年530人が船で中国を訪問。現地の青年との交流や船上での研修を行います。

期間 8月14日～28日

訪問都市 天津、北京、濟南、青島、上海

募集人員 90人

応募資格 県内に居住する20歳～29歳の青年

参加者負担金 23万円(事前研修費、制服代を含む)一部を市町村が補助の予定です。

応募方法 所定の申込用紙(県庁青少年育成課、各県事務所民生課にあります)に関係書類を添えて5月1日までに市町村役場へ。